

晴れ渡る秋空が広がるなかで、2011年3月11日から3年7ヶ月目にあたる10月11日（土）、宮城県亘理郡山元町で、「やまもと花釜秋まつり」（場所：旧山下駅 午前10時～午後1時）が開催されました。

参加者は約300名程度で、昨年を下回りましたが、さまざまな地元行事と重なったようです。また月命日という事もあって、いろんなところで慰霊をされている姿がありました。岩佐花釜区長は「いろんな行事が出来るようになったことは、地域の復興が進んでいる証し」と語っておられました。

この「まつり」を支えるために、ヘルスコープおおさか5名+4名（上を向いて歩こう隊自主参加）をはじめ、きづがわ医療生協、神戸、大阪・兵庫医学生等合計35名が参加しました。また全国15医療生協から300名分を超える景品（主には各地の土産物）が送られてきていました。

ヘルスコープの参加者は、ポップコーンと足湯を担当しました。ポップコーンは約200名分が全て無くなりましたが、足湯は、暖かい陽気もあって、昨年に続き参加された方は10名前後となりました。

今後は、引き続き定例支援（毎月2回土曜日の健康チェックや班会等）を中心に進めていくことになります。定例支援は、けんなん医療生協とともに、各地の医療生協や兵庫生協連などが参加されているようです。支援されている場所も、これまでの花釜地区（吉野宅）、坂元老人憩いの家、仮設住宅から、花釜復興住宅、牛橋地区を追加した地域に広がってきているようです。

花釜復興住宅の建設が急ピッチに進んでおり、これまでの中心地域で会った旧山下駅（花釜区）周辺から、復興住宅周辺が中心地域になりつつあるようです。

中浜小学校（山元町）は遺跡として残されることが決まっていますが、手はついていません。磯浜漁港（山元町）や荒浜漁港（亘理町）は復興が進んでいました。

閑上地域（名取市）は3年前とまったく変わらない風景がひろがっています。



前日の打ち合わせは、夜10時からでしたが、三々五々遅れて10時半↑



上を向いて歩こう隊の演奏。そして山元町の歌（この町を）作った「作り隊」のみなさんも参加してして下さいました。（ブログより）

# 震災復興支援（宮城県山元町） やまもと花釜秋まつり に行ってきました



オープニングは地元の太鼓サークル ↑  
後片付けも全員で！ ↓



ヘルスコープの分担出店 （左）ポップコーン （右）足湯



ヘルスコープ オールスタッフ

きづがわ医療生協・きづがわラーメン 神戸医薬研・綿飴

神戸医療生協（たこ焼き）



閑上地区は、3年前と変わらない風景が広がる